

# 第36回市町村職員を 対象とするセミナー資料

「参加市区町村の概況」

平成15年11月8日（土）

青森県	・	・	・	・	・	1
岩手県	・	・	・	・	・	2
山形県	・	・	・	・	・	6
福島県	・	・	・	・	・	7
岐阜県	・	・	・	・	・	8
三重県	・	・	・	・	・	9
大阪府	・	・	・	・	・	10
福岡県	・	・	・	・	・	11
宮崎県	・	・	・	・	・	13
鹿児島県	・	・	・	・	・	14

## 11月セミナー参加市区町村の概況

1. 都道府県・市区町村: <sup>香川県</sup> 八戸市	
2. 人口: 245,184 人	3. 世帯数: 94,740 世帯
4. 面積: 214.04 km <sup>2</sup>	5. 高齢化率: 17.4 %
6. 経常収支比率: 85.3 % (平成14年度)	7. 起債制限比率: 12.4 % (平成14年度)
8. 産業別就業人口と主な産業:	
	第1次産業 4,305人 3.7 %
	第2次産業 32,120人 27.4 %
	第3次産業 80,334人 68.5 %
主な産業:	(水産業、工業)
9. 我が市区町村における地方計画に基づく独自の取組等について	
<p>当市は平成15年2月に「健康ばらの八戸」計画を策定した。策定に当たっては担当課内の全職員、市内の国保委員から構成された市内検討部会、市民の代表者から構成された策定委員会を設立して、策定に取り組んだ。作業は過去10年間のデータを、9項目の領域で分析し、健康づくりの現状と課題を把握した。その上で健康づくり戦略として、「市民のチャレンジ目標」と目標値をかけた。</p> <p>市民には、タイムズエース版を配印したり、毎月の広報、当市の保健事業を通し、PRに努めている。また、15年9月29日(日)「八戸市健康まつり」において、「健康都市宣言」を行った。</p>	
10. 計画未策定の市区町村における策定への課題、問題点など	

## 1 1月セミナー参加市区町村の概況

1. 都道府県・市区町村： 盛岡市	
2. 人口： 28万7319 人	3. 世帯数： 11万6240 世帯
4. 面積： 489.15 km <sup>2</sup>	5. 高齢化率： 15.6 %
6. 経常収支比率： % (平成 年度)	7. 起債制限比率： % (平成 年度)
8. 産業別就業人口と主な産業：	
第1次産業	3.5 %
第2次産業	16.5 %
第3次産業	80.0 %
主な産業： ( 第3次産業(卸売,小売,飲食店,サービス業及 公務中心) )	
9. 我が市区町村における地方計画に基づく独自の取組等について	
<p>平成15年度、16年度の2ヶ年を築造する(現在、策定中)</p> <p>市民の声を反映した計画づくりとするために、策定懇談会と連動した3つの策定部会を設置し、具体的な数値目標、行動目標を策定する。また、各町内単位で市民の声を反映させるため、「健康井戸端会議」を実施し、市民の声を吸い上げたい。</p> <p>なお、この計画は、岩手大学との連携の協力事業の中を実施していく予定である。</p>	
10. 計画未策定の市区町村における策定への課題、問題点など	

## 11月セミナー参加市区町村の概況

1. 都道府県・市区町村： 岩手県		宮5市	
2. 人口： 54,504人	3. 世帯数： 20,508世帯		
4. 面積： 339.446 km <sup>2</sup>	5. 高齢化率： 23.38%		
6. 経常収支比率： 84.8% (平成14年度)	7. 起債制限比率： 11.0% (平成14年度)		
8. 産業別就業人口と主な産業：	第1次産業 2,262人 8.9%		
	第2次産業 7,739人 28.1%		
	第3次産業 16,026人 63.0%		
主な産業：	水産と観光の町		
9. 我が市区町村における地方計画に基づく独自の取組等について			
<p>・今年度3月を目標に 目的設定型により計画策定中。</p> <p>母子保健計画も併せた計画となっている。</p>			
10. 計画未策定の市区町村における策定への課題、問題点など			

11月セミナー参加市区町村の概況

1. 都道府県・市区町村:		岩手県	滝石市
2. 人口:	4万6千人	3. 世帯数:	1万7千世帯
4. 面積:	224.97 km <sup>2</sup>	5. 高齢化率:	26.5%
6. 経常収支比率:	% (平成 年度)	7. 起債制限比率:	% (平成 年度)
8. 産業別就業人口と主な産業:		第1次産業	9.7%
		第2次産業	34.5%
		第3次産業	56.1%
主な産業:			
9. 我が市区町村における地方計画に基づく独自の取組等について			
10. 計画未策定の市区町村における策定への課題、問題点など			
平成14年度 市民生活習慣状況調査の実施 (アンケート 4000人に郵送. 回収率41.4%)			
平成15年度 計画策定中. (健康づくり推進協議会 2回 (健康を守る21プラン検討委員会 3回)			
* 検討委員会を3部会(運動・栄養・心保養)を設け、市民並びに関係団体から幅広く意見を伺っています。			

## 11月セミナー参加市区町村の概況

1. 都道府県・市区町村： 岩手県 ・ 川崎村					
2. 人口：	4,762	人	3. 世帯数：	1,315	世帯
4. 面積：	42.49	km <sup>2</sup>	5. 高齢化率：	30.0	%
6. 経常収支比率： 81.5% (平成14年度)		7. 起債制限比率： 10.4% (平成14年度)			
8. 産業別就業人口と主な産業：		第1次産業	19.8	%	
		第2次産業	43.8	%	
		第3次産業	36.4	%	
主な産業：		〔 農業は米、園芸、畜産。 〕			
9. 我が市区町村における地方計画に基づく独自の取組等について					
<p>「川の駅、かわさき」の将来像を掲げ、「川を活かし、川とともに生きる」人と川を基軸にしたむらぶりの「川崎村村勢発展計画」を策定し、基本計画の中に「元気をつくる」として保健体制整備を示す。</p> <p>健康づくりの地方計画については、「健康かわさき21」を「元気をつくる」を目標に策定作業中。</p>					
10. 計画未策定の市区町村における策定への課題、問題点など					
(指標の設定レベル)					

## 11月セミナー参加市区町村の概況

1. 都道府県・市区町村 : 山形県立川町	
2. 人口 : 6,876 人	3. 世帯数 : 1,845 世帯
4. 面積 : 19,082 ha	5. 高齢化率 : 30.0 %
6. 経常収支比率 : 91.2% (平成14年度)	7. 起債制限比率 15.1% (平成14年度)
8. 産業別就業人口と主な産業 :	
	第1次産業 12.9 %
	第2次産業 40.4 %
	第3次産業 46.7 %
主な産業 :	[ ]
9. 我が市区町村における地方計画に基づく独自の取組等について	
10. 計画未策定の市区町村における策定への課題、問題点など	

## 11月セミナー参加市区町村の概況

1. 都道府県・市区町村:		福島県・福島市	
2. 人口:	291,070 (15.10.1)人	3. 世帯数:	107,896 世帯(15.10.1)
4. 面積:	746.43 km <sup>2</sup>	5. 高齢化率:	19.2 (14.10.1)%
6. 経常収支比率:	78.5% (平成14年度)	7. 起債制限比率:	10.1% (平成14年度)
8. 産業別就業人口と主な産業:	第1次産業	6.2%	
(平成12年)	第2次産業	26.9%	
	第3次産業	65.9%	
主な産業:	農業, 観光 “いづ湯とくだもの国ふくしま”		
9. 我が市区町村における地方計画に基づく独自の取組等について			
「ふくしま健康プラン」の推進事業として、①隔年開催している「健康ふくしま」で、プランを市民に広く周知している (H15開催) ②健康セミナーの年4回開催。③生活習慣アンケート調査の実施。 ④職場環境改善保健事業(予定)等。			
10. 計画未策定の市区町村における策定への課題、問題点など			

## 11月セミナー参加市区町村の概況

1. 都道府県・市区町村： 岐阜県明市			
2. 人口：	77,021 人	3. 世帯数：	25,684 世帯
4. 面積：	102.51 km <sup>2</sup>	5. 高齢化率：	16.4 %
6. 経常収支比率：	78.9 % (平成14年度)	7. 起債制限比率：	9.0 % (平成14年度)
8. 産業別就業人口と主な産業：	第1次産業	2.3 %	H12
	第2次産業	47.5 %	国調
	第3次産業	50.2 %	
主な産業：	〔 刃物製造 〕		
9. 我が市区町村における地方計画に基づく独自の取組等について			
平成15年度 策定中			
10. 計画未策定の市区町村における策定への課題、問題点など			
平成15年度 策定中			

## 11月セミナー参加市区町村の概況

1. 都道府県・市区町村： <u>三重県</u>					
2. 人口：	<u>186,253</u>	人	3. 世帯数：	<u>65,587</u>	世帯
4. 面積：	<u>5776.45</u>	km <sup>2</sup>	5. 高齢化率：	<u>20</u>	%
6. 経常収支比率： <u>87.9</u> % (平成13年度)		7. 起債制限比率： <u>12.8</u> % (平成13年度)			
8. 産業別就業人口と主な産業：		第1次産業	<u>5.2</u>	%	)
		第2次産業	<u>76.0</u>	%	
		第3次産業	<u>58.5</u>	%	
主な産業：					
9. 我が市区町村における地方計画に基づく独自の取組等について					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康づくり推進事業者公表制度</li> <li>・健康づくりフォーラムの開催</li> </ul>					
10. 計画未策定の市区町村における策定への課題、問題点など					

## 11月セミナー参加市区町村の概況

1. 都道府県・市区町村:		大阪市	
2. 人口:	2,626,877 人	3. 世帯数:	1,202,225 世帯
4. 面積:	221.82 km <sup>2</sup>	5. 高齢化率:	17.1 %
6. 経常収支比率:	99.8% (平成13年度)	7. 起債制限比率:	% (平成 年度)
8. 産業別就業人口と主な産業:	第1次産業	0.1 %	
	第2次産業	26.0 %	
	第3次産業	73.9 %	
主な産業:			
9. 我が市区町村における地方計画に基づく独自の取組等について			
<p>健康日本21が設定している9分野に肝臓病を加えた、 10の対象分野を設定。 (肝臓病に引死亡率が全国平均の約2倍と高いため。)</p>			
10. 計画未策定の市区町村における策定への課題、問題点など			

## 11月セミナー参加市区町村の概況

1. 都道府県・市区町村: 北九州市	
2. 人口: 100万人	3. 世帯数: 41万5千世帯
4. 面積: 485.25 km <sup>2</sup>	5. 高齢化率: 20.3%
6. 経常収支比率: 91.9% (平成12年度)	7. 起債制限比率: 9.3% (平成12年度)
8. 産業別就業人口と主な産業:	
	第1次産業 4,033人 0.9%
	第2次産業 126,249人 27.9%
	第3次産業 315,082人 69.7%
主な産業:	<p>工業と港湾物流では九州を代表する都市であり、商業では福岡市に次ぐ九州最大の商業地として賑わいをみせている。又近年では観光面でも開業が進み、他県からも多くの観光客が訪れる街となっている。</p>
9. 我が市区町村における地方計画に基づく独自の取組等について	
<p>市の基本構想の部内創計画として、「北九州市健康プラン」を策定している。計画の期間は平成11年～17年までの7年間としているが、国の「健康日本21」における数値目標の策定に合わせて見直しを行っている。</p> <p>計画の内容では、生活習慣病対策、がん対策、介護対策、少子化対策の4つを重点課題としており、市、区、地域の三層構造と縦糸とし、休財・医療・福祉関係も地域住民の多様な構成員から人的なネットワークを構築して市民全体の健康づくりに取り組んでいる。</p>	
10. 計画未策定の市区町村における策定への課題、問題点など	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 住民の声、現状をいかに把握して計画に組み込むか。</li> <li>○ 行政のみだけでは限界があるため、地域や他団体等と連携をはかっていくかどうかな。</li> </ul>	

## 11月セミナー参加市区町村の概況

1. 都道府県・市区町村： <sup>福岡県</sup> 太宰府市	
2. 人口： 65,263 人	3. 世帯数： 24,792 世帯
4. 面積： 29.61 km <sup>2</sup>	5. 高齢化率： 17.1 %
6. 経常収支比率： 85.8% (平成12年度)	7. 起債制限比率： 11.1% (平成12年度)
8. 産業別就業人口と主な産業：	
	第1次産業 0.7 %
	第2次産業 19.0 %
	第3次産業 79.2 %
主な産業： <span style="font-size: 2em;">{</span>	
9. 我が市区町村における地方計画に基づく独自の取組等について	
平成12年3月に策定した「太宰府市地域保健計画」を実現するため、基本計画に優先度を定めるなど具体化し、より市の実状に即した事業計画を策定した。 (太宰府市地域保健計画実施計画)	
＜母子保健＞	
子育て相談…心理士による発達に問題のある子へのフォロー(心理相談)	
どんぐり広場…心理士、保育士、保健師による保育がボーダーラインの子に対する育児支援教室	
わいわい広場…保育士による孤立しがちな親子に対する育児支援教室	
＜成人保健＞	
C型肝炎啓発事業…講演会および地域公民館での学習会	
糖尿病予防学習会…糖尿病予防週間にあわせて医師、運動指導士、管理栄養士、保健師による学習会	
10. 計画未策定の市区町村における策定への課題、問題点など	

## 11月セミナー参加市区町村の概況

1. 都道府県・市区町村： 宮崎県 宮崎市	
2. 人口： 308,698 人	3. 世帯数： 128,951 世帯
4. 面積： 286.96 km <sup>2</sup>	5. 高齢化率： 16.0 %
6. 経常収支比率： 80.7 % (平成13年度)	7. 起債制限比率： 16.4 % (平成13年度)
8. 産業別就業人口と主な産業：	
	第1次産業 4.0 %
	第2次産業 17.5 %
	第3次産業 78.0 %
主な産業：	(観光サービス業, 農業, 卸・小売業)
9. 我が市区町村における地方計画に基づく独自の取組等について	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヘルスプロモーションの考えで策定した。</li> <li>・地方計画の推進母体として市民団体、行政機関、公募市民等の37名からなる推進市民会議を設置するとともに、庁内に推進庁内会議（18課長）を設置した。</li> <li>・個人、家族、地域、市民活動団体、学校、職場・企業、マスメディア、保険者、保険医療専門家、行政が担う役割を明確にうたってそれぞれの取り組みを促進する手法で運動を展開している。</li> <li>・保健医療専門家やNPO関係者8名からなる評価委員会を設置し、計画に掲げている指標や各推進団体が設定した活動目標の評価を行うこととした。</li> <li>・保健・医療・福祉の枠だけでなく都市環境、自然環境、労働環境分野の取り組みまで計画の枠を広げて健康づくり運動を展開することとした。</li> </ul>	
10. 計画未策定の市区町村における策定への課題、問題点など	

## 1 1月セミナー参加市区町村の概況

1. 都道府県・市区町村：鹿児島県・ <sup>かのやし</sup> 鹿屋市										
2. 人口： (H12 国調) 81,084人	3. 世帯数： (H15.10) 34,214世帯									
4. 面積： 234.37km <sup>2</sup>	5. 高齢化率： (H15.1) 20.2%									
6. 経常収支比率：83.2% (平成14年度)	7. 起債制限比率： 9.6% (平成14年度)									
8. 産業別就業人口と主な産業： <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>第1次産業</td> <td>3,568人</td> <td>9.7%</td> </tr> <tr> <td>第2次産業</td> <td>7,924人</td> <td>21.5%</td> </tr> <tr> <td>第3次産業</td> <td>25,331人</td> <td>68.8%</td> </tr> </table>		第1次産業	3,568人	9.7%	第2次産業	7,924人	21.5%	第3次産業	25,331人	68.8%
第1次産業	3,568人	9.7%								
第2次産業	7,924人	21.5%								
第3次産業	25,331人	68.8%								
主な産業： <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; display: inline-block; margin-left: 20px;">         基幹産業は畑作や畜産などの農業であり、特に畜産業は全国有数の生産量があり、南九州随一の食料基地としての役割を担っています。また、大隅半島の中核的な商業都市としての機能も果たしています。       </div>										
9. 我が市区町村における地方計画に基づく独自の取組等について 鹿屋市では、平成15年3月に「鹿屋市健康づくり計画(かのやヘルスアッププラン21)」を策定し、7つの領域(栄養・食生活、身体活動・運動、休養・こころの健康づくり、たばこ・アルコール、歯の健康、生活習慣病、寝たきり予防)において30指標67目標を掲げました。本市の将来都市像である「健康・スポーツ都市かのや」の実現に向け、市民の健康づくり意識とQOLの向上のため、様々な取り組みを実施中です。 特に、計画を推進するための3つのリーディングプランとして、①普及・啓発事業(健康づくり講座、健康・スポーツフェスタ等)、②健康づくり運動(ウォーキング、グラウンドゴルフ、市民健康体操)の推進、③健康づくり一貫システムの構築を年次別に展開してゆく予定です。「③健康づくり一貫システム」とは、本市が厚生労働省の指定を受け平成14年度から実施中である「国保ヘルスアップモデル事業」のノウハウを活かし、健診から健康づくり処方提示・実践、効果測定・評価を行い市民の健康づくり行動の定着を図るためのシステムの構築を目指すものです。										
10. 計画未策定の市区町村における策定への課題、問題点など										